

ACEの衝撃

(小児期逆境体験)

～子どもの傷つき体験の深刻な影響とその対応～

1990年代からアメリカで行われているACE (Adverse Childhood Experiences, 小児期逆境体験) 研究によると、虐待や家族との別離などの小児期における逆境体験は、成人期の社会的問題(引きこもり、不就労、貧困)だけでなく、精神的健康問題(うつ、自殺、依存など)、身体的健康問題(生活習慣病、がん、心臓疾患)などにも影響があることが明らかになっています。研究が進む中、ACEについての啓発活動と同時に、知見を教育や支援に活かすことが積極的に行われ、その有効性のエビデンスが積み上げられつつあります。

わが国でも、虐待と引きこもりは大きな社会問題となっていますが、十分な対策がとれていません。虐待と引きこもり等の問題が繋がっている可能性があります、そのことを明らかにする研究は不十分であり、社会にもあまり知られていません。

そこで、このセミナーでは、虐待・愛着障害・発達障害に関する研究と治療の第一人者である杉山登志郎先生、アメリカのミシガン州でACEの啓発活動に取り組んでいらっしゃる若林巴子先生のお二方による講演と座談会を通して、ACE(小児期逆境体験)の防止の必要性についてお伝えします。

大阪

2020年6月20日(土)

13:30~16:30 (受付開始 13:00~)

CIVI北梅田研修センター 5F Hall

(大阪市北区芝田2-7-18 LUCID SQUARE UMEDA 5F)
JR大阪駅 御堂筋北口から徒歩5分

東京

2020年6月28日(日)

13:30~16:30 (受付開始 13:00~)

日本教育会館 第一会議室

(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)
地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 神保町駅A1出口から徒歩3分

参加費

3,300円

(税・資料代込)

定員

各200名

(先着順・要事前申込)

講師紹介

すぎやま としろう

杉山登志郎 先生

福井大学子どものこころの研究センター
客員教授

虐待・愛着障害・発達障害の研究と治療
の第一人者。
「子ども虐待という第四の発達障害」など
著書多数。



わかばやし ともこ

若林巴子 先生

Oakland University 准教授
Michigan ACE Initiative マスタートレーナー

HighScope教育財団の研究科長を勤めた後、現職。米国におけるACE研究に詳しく、現在「ACEと幼児教育」を研究テーマとしている。米国ミシガン州においてACEの啓発活動に取り組んでいる。



セミナーの詳細・お申込みは
こちら→
http://bit.ly/ACE_2020



お申込方法

右のコードからお申込みフォームに必要事項をご入力ください。FAXの場合は以下に必要事項を記載のうえ送信して下さい。

※ご希望の日程に✓をお願いします
参加申込書 6/20大阪 6/28東京 FAX 送信先 : 053-456-0575

■氏名 (フリガナ) 必須

■電話番号 必須

■メールアドレス または FAX番号 必須 ※お申込み受付後は主にメールにてご連絡致しますので、メールアドレスは正確にご記入下さい。

■ご職業、ご所属先 など 必須

会社員 幼稚園・保育園関係者 教育関係者 行政職員 主婦・主夫 学生 その他 ()